



18の芸能・音楽団体が華やかに競演

けんみん文化祭備北地区フェスティバル庄原大会・3/15

No.3

庄原市民会館で「けんみん文化祭備北地区フェスティバル庄原大会」が開催されました。

この大会は、県内の豊かな自然と伝統に育まれた文化の発掘、継承、育成を図ることを目的に、県民の文化活動の発表、鑑賞、交流の場として平成3年から開催されている「けんみん文化祭ひろしま」の地区予選を兼ねています。

今回は、合唱、邦楽、大正琴、芸能、日本舞踊などの市内の18団体、約200人が出演し、多彩なステージが繰り広げられました。

閉会式では、審査による「けんみん文化祭ひろしま'26」へ出演の推薦5団体が発表され、会場は大きな拍手に包まれました。



▲琴城流大正琴 東城支部



▲日本尺八連盟 庄原幹部会



▲コーラスグループあんだんて

地域の足「こまわりくん」増車

こまわりくん2台目初運行・4/2

No.5

総領町内を運行する庄原市公共交通空白地有償運送「こまわりくん」の新車両が、4月2日初運行しました。

総領地域のこれからの公共交通を地域で見直し、安心な暮らしを充実させるため、「こまわりくん」の車両を1台増車し、計2台で運行しています。

「こまわりくん」は総領地域で平成24年度に運行をスタートし、町内の移動手段として、たくさんの人に利用されています。運転手も地元の人で、安心して利用できるよう、地域で支え合いながら運行しています。

新車両に乗車した利用者は「新しい車はスライドドアで、車高も低く乗りやすい」「こまわりくんはこの地域になくてはならないもの」と話しました。



▲新車両初の乗客

私のいきかたノートを作ろう！

いきかたノートの作成講座・3/15

No.4

東城自治振興センターで「いきかたノート」の作成講座が開催され、町内の医療機関や介護サービス事業所の職員25人が参加しました。

いきかたノートは、「これからどのように暮らしていきたいか」「人生の最期を、どこで、どのように迎えたいか」など、大切にしたい生き方や日々の暮らしを家族と一緒に叶えていくための「きっかけ」となるノートです。

参加者は「利用者と今後の生活について踏み込んで話すことがなかった。このノートをきっかけに、これからの生活について話をしていきたい」「余命が限られている人を担当しているが、このノートを薦めて気持ちを整える機会を設けたい」と話しました。



▲いきかたノートについて学ぶ参加者

語りと音色でつながる特別な時間

ヴァイオリン・ピアノコンサート

口和支所

演奏は観客の目前で進行し、奏者の指の動きや息づかいまで感じられる臨場感あふれるステージとなりました。また、曲の合間には、演者がそれぞれの楽曲に込めた思いを語る場面もあり、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

来場者からは、「目の前で演奏を見聞きでき、とても迫力があった」「普段なかなか体験できない貴重な時間だった」「またこのような機会があればぜひ参加したい」といった声が聞かれ、充実した一日となりました。



臨場感あふれるステージ



美しい音色に耳を傾ける参加者



暮らしやすい地域づくり

比和きずな会「福祉大会」・3/23

No.2

比和自治振興センターで、比和きずな会「福祉大会」が行われ、約40人が参加しました。

これは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくため、住民同士が共に考え、支え合える地域を目指し、交流を深めることを目的としたイベントです。

当日は、保健医療課の栄養士による生活習慣病の予防に関する話や、比和自治振興区が行う、地域で元気に楽しく生活するための「比和まるごと家族」の取り組みについて紹介がありました。また、共同作業所「青空とゆめのいえ」による雑貨販売もありました。

最後には、元気で仲良く長生きするための体操として、全員で音楽に合わせて体を動かし、参加者は「改めて健康について考える良い機会となった」と話しました。



▲音楽に合わせて体操を行う参加者

全国表彰を受賞

第67回全国土地改良功労者等表彰・3/25

No.1

東京都千代田区砂防会館別館で、第67回全国土地改良功労者等表彰式が開催され、庄原市土地改良区が農林水産省農村振興局長表彰を受けました。

これは、基盤整備事業の推進と、令和5年4月に旧町単位であった5つの土地改良区の合併を行ったことで県下最大の土地改良区となり、組織や運営基盤の強化、賦課金徴収率の改善を図ったことが評価されたものです。

現在は、農村型地域運営組織（農村RMO）と連携を取りながら、農業活動の維持・地域資源の保全や地域コミュニティ機能の維持・強化を図っています。

また、スマート農業の導入を図ることを目的とした、農地などの大区画化事業を県や市と進めており、引き続き営農の省力化や経営力強化の取り組みを行います。



▲表彰式に参加した松田理事長（前列右から2番目）